

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成28年2月12日(2016.2.12)

【公開番号】特開2014-73130(P2014-73130A)

【公開日】平成26年4月24日(2014.4.24)

【年通号数】公開・登録公報2014-021

【出願番号】特願2013-247797(P2013-247797)

【国際特許分類】

C 1 2 N	1/20	(2006.01)
A 2 3 L	33/10	(2016.01)
A 6 1 K	35/74	(2015.01)
A 6 1 P	31/04	(2006.01)
A 6 1 P	31/12	(2006.01)
A 6 1 P	1/00	(2006.01)
A 6 1 P	1/04	(2006.01)
A 6 1 P	37/04	(2006.01)
A 6 1 P	1/14	(2006.01)
A 6 1 P	17/16	(2006.01)
A 6 1 K	8/99	(2006.01)
A 6 1 Q	19/00	(2006.01)
A 6 1 Q	19/08	(2006.01)
C 1 2 N	15/09	(2006.01)

【F I】

C 1 2 N	1/20	Z N A A
A 2 3 L	1/30	Z
A 6 1 K	35/74	A
A 6 1 P	31/04	
A 6 1 P	31/12	
A 6 1 P	1/00	
A 6 1 P	1/04	
A 6 1 P	37/04	
A 6 1 P	1/14	
A 6 1 P	17/16	
A 6 1 K	8/99	
A 6 1 Q	19/00	
A 6 1 Q	19/08	
C 1 2 N	15/00	A

【手続補正書】

【提出日】平成27年12月22日(2015.12.22)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ラクトバチルスGG株(ATCC53103)よりIgAの産生促進作用が高く、且つリストリアEGD株よりマイトジエン活性及びIL-2産生促進作用が低く、

グルコース、フルクトース、スクロース、トレハロース及びグルコン酸塩に対する資化性を示すことを特徴とする、ラクトバチルス・クンキー(Lactobacillus kunkeei)に属する乳酸菌。

【請求項 2】

請求項1に記載の乳酸菌又はその菌体処理物を含有する食品組成物。

【請求項 3】

請求項1に記載の乳酸菌又はその菌体処理物を含有する医薬組成物。

【請求項 4】

請求項1に記載の乳酸菌又はその菌体処理物を含有する化粧品組成物。

【請求項 5】

請求項1に記載の乳酸菌又はその菌体処理物を含有する、気道又は食道の粘膜から侵入してくる病原体又はウイルスに対する感染予防用の免疫賦活剤。

【請求項 6】

請求項1に記載の乳酸菌又はその菌体処理物を含有する、食中毒の予防又は緩和用の腸管免疫賦活剤。

【請求項 7】

請求項1に記載の乳酸菌又はその菌体処理物を含有する、整腸、美容、又はアンチエイジング用の組成物。

【請求項 8】

請求項1に記載の乳酸菌又はその菌体処理物を含有する、炎症性腸疾患の予防及び/又は治療用組成物。

【請求項 9】

前記炎症性腸疾患がクローン病又は潰瘍性大腸炎である、請求項8に記載の組成物。

【請求項 10】

食品又は医薬品である、請求項7 ~ 9のいずれかに記載の組成物。